

第71回企画展

生業とくらしを支えた農家住宅

～水田・畑作・養蚕農家と豪雪地帯の住宅事例から～



平成29年1月12日(木)～平成29年3月29日(水)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

農村の人々は先代から受け継いだ、^{かまど}曲炉裏のある茅葺き屋根の家に住んでいたころ、農家住宅の典型は、屋内に土間があり、田の字型に間取りしたものでした。

土間には、煮炊きするかまどや馬屋があり、接客用の部屋を広く使えるような工夫もされていました。

このような農家住宅は、土間で縄をなったり、縁側で機織りをしたり、屋根裏で蚕を飼うなど、住居と生業の結びつきがとても強い住宅となっていました。

農家住宅には建設された当時の農業や生活状況が反映されている一方で、地域差があり、それぞれの作目や自然条件等の違いによる特色が表れています。

今回の企画展では、昭和までの、県央水田地帯や県北畑作地帯、県南養蚕地帯、西和賀豪雪地帯の農家住宅の事例を紹介します。生業と密着した住宅が存在して、そこで生き抜いた人々が、いかにして土地に合ったより良い暮らしを生み出そうとしたか、創意工夫がどのように積み重ねられていったかをを探る機会とします。



岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台